

## 平成27年度 「大阪市統一テスト」における 茨田北中学校の結果の分析について

大阪市による「大阪市統一テスト」について、平成27年10月15日（木）に、第3学年を対象として実施しました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校がテスト結果やテスト結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、テスト結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

### 1 テストの目的

- ① テスト結果を個々の生徒の評定（内申点）に活用し、平成28年度入学者大阪府公立高等学校入学者選抜における調査書に記載する評定の公平性、信頼性を確保する。
- ② 学校が生徒一人ひとりの学力を的確に把握し、学習指導の改善及び進路指導に活用する。

### 2 テストの対象

- ・ 原則として、大阪市立中学校及び特別支援学校中学部の第3学年

### 3 テストの内容

- ・ 国語、社会、数学、理科及び英語の5教科

# 平成27年度「大阪市統一テスト」検証シート

学校名	大阪市立茨田北中学校
-----	------------

生徒数(人)	212
--------	-----

## 平均正答率(点)

	国語	社会	数学	理科	英語
学校	63.5	58.9	60.4	54.8	56.2
大阪市	64.7	57.4	59.3	55.6	59.8

## 結果の概要

平均正答率は大阪市平均と比べて、社会は1.5ポイント、数学は1.1ポイント、理科は0.8ポイント高い。しかし国語は1.2ポイント、英語は3.2ポイント低い。

領域別に見ると国語は「話すこと・聞くこと」、社会は「地理」「公民」、数学は「図形」「関数」「資料の活用」、理科は「生命」で市平均より高い。英語は全ての領域で市平均より低い。

## 成果と今後取り組むべき課題

観点別正答率では、国語が「話す・聞く能力」のみ大阪市より正答率が高い。書く能力を定着させられるように自分の考えをまとめることのできる作文指導に取り組む。

社会は全てで正答率が高い。引き続き資料を活用した授業で、グラフ・図などから読み取る力をつける。

数学は「数学的な見方や考え方」のみ低い。応用問題の練習を取り入れることで、応用力を向上させる。

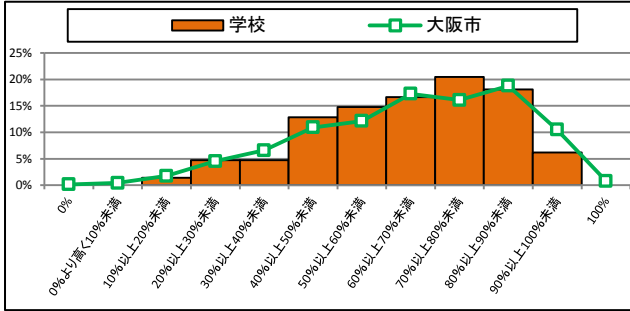
理科は「自然事象への関心・意欲・態度」が平均と並び、他は低い。課題の復習を取り入れることで、習得内容の定着を図る。

英語は全てで低い。単語力をつけ基礎・基本の定着を図る。

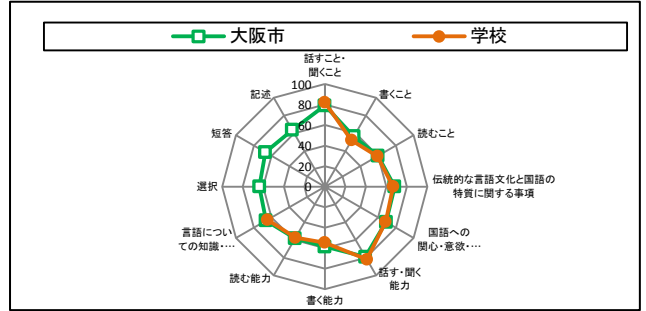
# 【各教科の得点分布と領域・観点・問題形式別平均得点の分布】

## 【国語】

### 【得点分布】

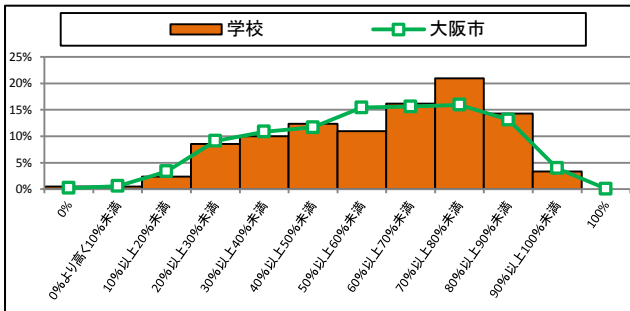


### 【領域・観点・問題別の分布】

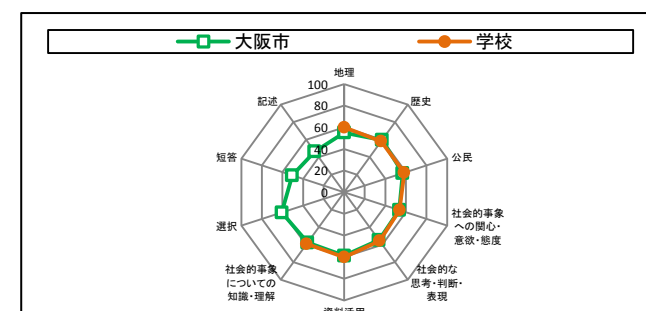


## 【社会】

### 【得点分布】

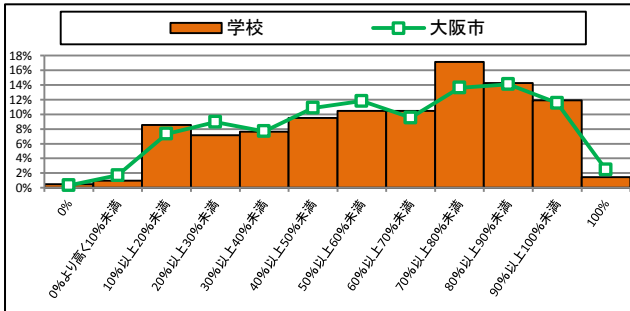


### 【領域・観点・問題別の分布】

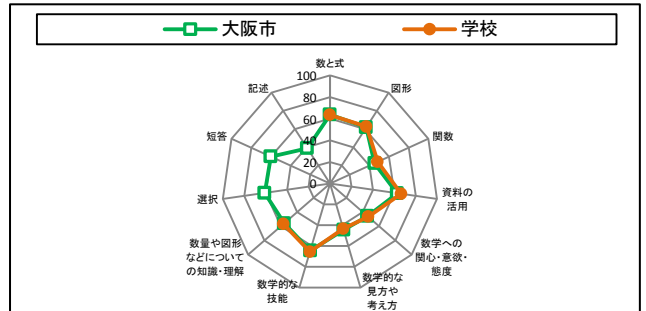


## 【数学】

### 【得点分布】

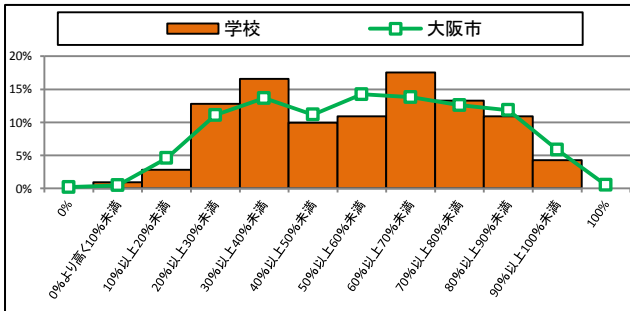


### 【領域・観点・問題別の分布】

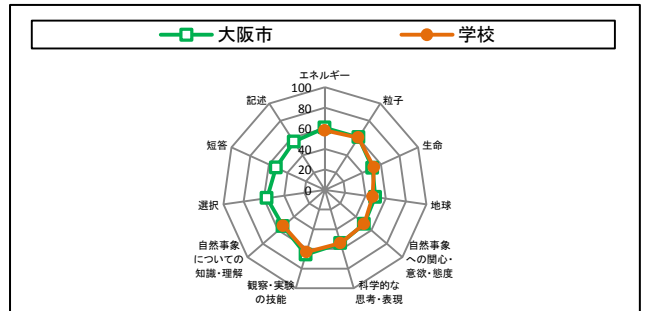


## 【理科】

### 【得点分布】

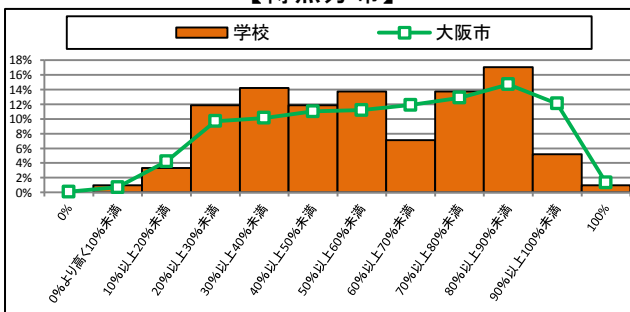


### 【領域・観点・問題別の分布】



## 【英語】

### 【得点分布】



### 【領域・観点・問題別の分布】

